

■今年度検討結果のまとめ（案）

1. 道の駅の将来像及び整備方針の流れ

安芸太田町「道の駅」及び周辺施設再整備基本計画をもとに過年度では道の駅来夢とごうちの重点道の駅申請及び町民意見交換会を実施している。これら過年度の道の駅に対する課題認識や目指すべき方向性に対し、社会動向や来訪者・町民・行政のニーズを踏まえ、道の駅来夢とごうちの将来像と整備方針を設定した。

第2次安芸太田町長期総合計画【後期基本計画】R2.3 策定

<基本計画 第6節 産業・観光・しごと>

町内の事業者や起業者の「儲ける力」を促進するとともに、町の自然資源、文化資源等を活用し、交流人口の拡大を図る。

<道の駅整備に大きくかわる施策>

- 施策 24 農商工連携を進めます
- 施策 25 農業を振興します
- 施策 30 交流人口の拡大による経済波及効果の増加を図ります
- 施策 31 観光地域づくり法人（DMO）の取組を推進します

踏まえる

過年度までの道の駅に対する課題認識・目指すべき方向性

■課題

<道の駅周辺のハードに関する課題>

- 道の駅内の回遊性・一体感を高める必要がある
- 渋滞が起らないような道の駅へのアクセス方法の改善が必要
- 魅力的な景観形成が必要
- 来訪者の期待感を高め、道の駅から各地へと誘導する仕掛けが必要

<道の駅運営ソフトに関する課題>

- インバウンドを誘引する仕掛けが必要
- 町民に愛され、利用される道の駅となる必要がある
- 交通拠点としての情報発信及び機能強化が必要
- 安芸太田町だけでなく、広域の視点で商品等の販売ロットを増やす必要がある
- 新規商品だけでなく、既存商品のブラッシュアップを含めた商品のプロデュースが必要
- 町内の観光スポット等をつなぐ機能を強化し、観光客と観光消費を町内に循環させる必要がある
- 町内にお金を循環させるためには農産物の生産力向上が長期的に必要
- 都市部の消費者の生の声を庁内の生産者にフィードバックすることが必要
- 安芸太田町の魅力を活かし、稼ぐ力を引き出すための関係機関の連携強化が必要

■目指す方向性

安芸太田町の魅力に“惚れさせる”ショールームとなる。

本物の魅力は地域にある。道の駅では、その良さを片鱗を”ショールーム”として見せて、来訪者に安芸太田町の魅力に“惚れさせる”。

町内各地の魅力をつなげる『つなぎ手』となる。

安芸太田町内の自然・文化・歴史等の様々な観光資源や食・地場産業、人的資源等の地域の価値・魅力をつなぎあわせる『つなぎ手』となる道の駅を目指す。

町内外のモノとヒトをつなげる『つなぎ手』となる。

自然、食、人など安芸太田町が持つモノの価値と来訪者・町民を引きあわせる『つなぎ手』となる道の駅を目指す。

町の玄関口  
わくわく感あふれる自然と癒しの地域パークへの誘い

多目的ハブ機能  
つながることによる価値創造エンジン

■道の駅整備にかかわる社会動向

■新型コロナウイルスによる生活様式・観光動向の変化

- リモートワーク等の進展による新しい働き方・暮らし方
- 3密を回避した観光地、観光への転換
- 自然・健康志向の高まり
- 地域の生活を守るためのデマンド交通、観光と一体となったMaaS等の活用需要
- ICTを活用した情報発信や商品販売等の活発化

■道の駅第3ステージ：『地方創生・観光を加速する拠点』に向けての道の駅の再整備

- 新たなインバウンド観光拠点、多言語対応やキャッシュレスなど基本サービスの充実
- 地域の文化体験など地域ぐるみでの受入環境の充実
- 交通手段と地域、観光施設情報等がまとめて提供されるサービス（観光 MaaS）の導入
- 他の防災施設と連携しながら安全・安心な場を提供
- あらゆる世代が「道の駅」で活躍するための環境を提供（子育て施設、交流施設等）

■来訪者ニーズ（Web アンケート）

- 観光ニーズは美味しい食事と自然とのふれあいが高い
- 安芸太田町への来訪目的は、道の駅での飲食・買い物・遊具施設利用が多い
- 安芸太田町での観光で困ることは食事
- 道の駅の主な利用は、最終目的地へ向かう途中の休憩・トイレ利用
- 現在の道の駅について特に困ったことはないが、駐車場やお土産・飲食に対する問題を指摘する声もある
- 新たな道の駅に求めるものは、こだわり食材のレストラン・カフェ、農産物直売所（町内の野菜、果物など）などの食の提供

■住民意見交換会（R3実施）

- 地元野菜を中心に見やすい直売所
- 井仁の米、鮎最中など加計のお土産なども取り入れ豊富な特産物販売ショップ
- わくわくランドは木製遊具で充実
- 子育て施設にも木製遊具を設置
- 軽飲食施設は米粉のパン屋など多品目が欲しい
- さくら公園でのBBQや電源付きRVパークの整備
- 太田川を活用した釣り、ファミリー向け施設の整備
- 裸足でくつろげる芝生広場 など
- 事業者ニーズ（実務者ヒアリング）
- 直売市の充実、加工場の整備
- 屋根付きで食事を楽しめるスペース
- 起業に向けたシェアキッチン等
- 金融機関など町の人に便利な施設
- 町内で楽しめるスポーツや自然体験のショールーム
- まず寄ってみようと思える町中の情報が集まる場
- 飲食・各種体験が楽しめる長時間滞在する道の駅

■行政考え方（観光・産業振興戦略WG）

- 町の稼ぐ力の向上と雇用創出のエンジンとなる
- 道の駅を「地域ブランディング」「地域販売・飲食モール」「観光案内・発着地」として再整備
- 町の玄関口として、ハード・ソフト両輪で再整備し、観光のハブとなる
- 民間活力向上のため行政・地域商社一体で環境整備
- 特に農業の生産性を高め、道の駅での販売に力を入れる
- 「農地維持」「耕作放棄地解消」「農家の長寿命化・元気づくり」のための農家の掘り起こし・支援を行う拠点とする
- 営農指導体制構築による地元農産物の充実化に貢献
- 集荷体制の整備とルールづくりの推進拠点
- サステナビリティな施設

道の駅来夢とごうち周辺施設整備基本計画

将来像

みんなで応援したくなる  
成長し続ける道の駅  
～町の観光・産業のエンジンとなる道の駅～

整備コンセプト・整備イメージ

町民が集い誇りに思える道の駅

- 日常的な買い物ができ、来訪者におすすめできる土産物・特産品もある
- 子どもの遊び場、健康増進教室、ランチを楽しむなど全世代が日常的に道の駅に集い思い思いに道の駅を楽しむことができる
- 町の人の働く場所、雇用を創出している
- 地域住民の移動手段となる公共交通（バス）が確保されている

出会い・ふれあいをつなぐ道の駅

- 道の駅が観光地や人をつなぐ中心となり、名物コンシェルジュによって町の魅力が来訪者に発信されている
- 買い物や遊び、イベント等を通じて地域と来訪者が相互に幸福につながるふれあいを提供している
- 太田川や周辺の自然の楽しさや新しい遊び等を提供している

おいしい・わくわくを届ける道の駅

- 景観にマッチしつつ、オシャレで立ち寄りたくなる地域の顔・地域の個性を表現した地域の殿堂・ショールームとなっている
- 高速道路 IC 近接の立地性を活かした流通拠点として様々な食を提供している
- ここでしか味わえない地域食材が購入でき、道の駅の中や芝生広場で食べられる
- 加工から販売までできる施設で多様な商品が提供されている

誰もが安全・安心な道の駅

- 施設内の回遊性が高く、安全性が確保されている
- 誰もが活用できる防災施設、次世代エネルギーへの対応ができている
- 道の駅と観光地をつなぐ 2次交通・観光一体型 MaaS が導入されている

## 2. 導入施設の考え方

導入施設は整備コンセプト・整備イメージより以下の施設を設定する。

なお、各導入施設については1つの整備コンセプトではなく、複合した整備コンセプトから導入が想定されることから、以下のように整合性について整理した。

導入施設一覧

導入施設	整備コンセプトとの整合			
	①町民が集い誇りに思える	②出会い・ふれあいをつなぐ	③おいしい・わくわくを届ける	④誰もが安全・安心
北側エリア	ネイチャーセンター（観光案内機能を含む）		●	
	軽飲食施設（フードコート）		●	●
	特産物販売ショップ	●	●	●
	農産物直売所	●	●	●
	セブンイレブン	●		
	レンタルスペース	●	●	
	オープンシェアキッチン及びシェア工房	●	●	●
	貸出用更衣室・ロッカー	●		
	子育て支援スペース	●		
	町民利便施設（ATM、宅配ボックス等）	●		
	サイクル・バイクステーション		●	
	バス待合所	●		
	その他（事務所、トイレ、機械室、倉庫、共用部等）			●
	イベント広場（屋根付き）	●	●	●
	イベント広場（屋根なし）	●	●	●
	自然の小径	●		●
遊具	●	●		
駐車場・駐輪場			●	
南側エリア	トイレ（既設）			●
	BBQ サイト		●	
	RV パーク		●	
	水遊び（川床）広場	●	●	

## 3. 施設整備の考え方

各導入施設について以下のような施設整備の方針をもとに施設の規模や形態・配置等を考える。

### 方針1 平日と休日で違う顔を持つ道の駅

- 平日は町民利用中心、休日は町民と来訪者が集う道の駅として多様な使い方ができ、稼働率の高い施設とする

	道の駅本体	広場	駐車場
平日	・町民が日常使用する軽飲食やコワーキングスペース、町民のための情報発信拠点など	・町民の健康維持に利用するヨガ広場、公園としての広場	・広場や道の駅を利用する町民の無料駐車場
休日	・地元産食材を使用したフードコート、観光から定住情報まで手に入る安芸太田町の情報発信拠点など	・町内外から集客するイベント広場（交流の場）	・施設利用者の無料駐車場 ・BBQやRVパーク利用者対応の水や電気が利用できる有料駐車場

### 方針2 安芸太田町の地の自然・人を活かした道の駅

- 自然の小径など安芸太田町の雄大な自然をアピールできる道の駅の施設や外構のしつらえとする
- わくわくランドの遊具や子育て支援スペースの遊具は木製とするなど「安芸太田町の自然」をPRする
- 名物コンシェルジュが安芸太田町の魅力を教えてくれる情報発信拠点を道の駅の核として整備する

### 方針3 天候に左右されない道の駅

- イベント広場に大屋根をかけるなど半屋外空間を設けることで気候に左右されず多様な活動や飲食スペースを確保する
- 屋内を大空間として設け、移動間仕切りを整備するなど用途に応じて空間を仕切る仕組みを取り入れることで多様な活動が出来る施設とし、平日と休日でフレキシブルな使い方を可能とする

### 方針4 立ち寄りやすい、立ち寄りたくなる道の駅

- 国道191号線や戸河内ICから道の駅施設が目に入りやすいように視認性の高い配置、シンボリックな施設として整備する
- 観光情報発信、体験観光の予約が可能な施設とすることで温泉や三段峡など安芸太田町内で観光する来訪者が立ち寄りたくなる施設とする
- 農産物直売所や軽飲食施設のスペースを十分に用意することで大型観光バス等にも対応する
- 地域住民が日々の買い物や休憩できる空間や子ども達が遊べる空間を十分に確保することで地域の方々が利用しやすい施設を整備する
- 利用者が安全に、使いやすい施設配置、動線とすることで何度でも利用したいと感じられる施設とする。



#### 4. 導入施設の利用イメージと規模設定

各導入施設について平日及び休日の利用イメージを想定し、施設整備の考え方に配慮して規模を設定する。

導入施設	利用イメージ		導入機能の整備・配置イメージ（案）	施設規模イメージ（㎡）
	平日（町民をメインの利用者として想定）	休日（観光客をメインの利用者として想定）		
北側エリア ネイチャーセンター （道路及び地域に関する情報の発信機能も含む）	<ul style="list-style-type: none"> <li>町の自然学習拠点</li> <li>道路情報や地域の情報を提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>川遊びなどの器具レンタルやエコツーリズムの情報を提供</li> <li>名物コンシェルジュによる観光案内（観光案内施設）</li> <li>インバウンド観光対応や移住・定住、空き家紹介などの情報提供</li> <li>AIを活用した安芸太田町の観光情報の提供、体験や宿泊施設などの予約</li> <li>道路情報の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安芸太田町の魅力を伝える拠点施設として整備</li> <li>道の駅の必須機能である道路情報や地域情報を提供できる情報施設を併せて一体的に整備</li> </ul>	120
軽飲食施設 （フードコート）	<ul style="list-style-type: none"> <li>町民が軽飲食を楽しむスペース</li> <li>町民が日常使用するコワーキングスペース、交流スペース</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>美味しいお米のおにぎりや旬の野菜を使った郷土料理、田舎寿司などの郷土料理を提供</li> <li>豊かな自然の風景を楽しめ、安芸太田町及び周辺の市町村の食を提供</li> <li>安芸乃国酒造の地ビール、戸河内ウイスキー等が飲める酒カフェ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安芸太田町や広島県の食が集う施設となるよう複数の飲食店を一か所にまとめ、座席を共用するセルフサービス形式の飲食スペースとして整備</li> <li>イベント広場での飲食ができるように近接して配置</li> </ul>	350
特産物販売ショップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>坊ちゃん柿や子持ちこんにゃくなど特産品販売、戸河内ウイスキーの試飲、試飲が進む加工品（柿チョコなど）の販売</li> <li>オープンシェアキッチン及びシェア工房等で作成した加工品販売</li> <li>県、町民や加計高生、芸北分校生が道の駅外で作成した加工品販売</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>安芸太田町らしさが伝わり購買意欲が高まる販売スペースとして特産物販売ショップと農産物直売所を一体的に整備</li> </ul>	140
農産物直売所	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元住民が普段使いする新鮮野菜の販売</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町外からもリピーターが続出する新鮮野菜（町独自の珍しい食材）の販売外への販売を強化する Web ショップ機能も持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内の施設内外で作成した加工品販売スペースを併設</li> </ul>	225
セブンイレブン	<ul style="list-style-type: none"> <li>生鮮食品以外の日常生活品を販売</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>利便性維持のため、既存セブンイレブンを集約して整備</li> </ul>	170
レンタルスペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>県、町民や加計高生、芸北分校生等が商品販売や開発にチャレンジできる売り場や簡易的な工房として利用</li> <li>町民が気軽にレンタルできる小規模な展示会場や会議室として利用</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>簡易的な工房、展示会場、会議室といった多目的な利用ができるスペースとして整備</li> </ul>	20
オープンシェアキッチン・シェア工房	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元住民の交流・レクリエーションの場としての利用</li> <li>六次産業化の推進のための加工品開発製造ができるオープンシェアキッチン・シェア工房</li> <li>起業者向けオープンシェアキッチン・シェア工房（県・町民や加計高生、芸北分校生等の活動の場）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントの準備スペースなど</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設利用者に活動内容が伝わる加工品開発のためのキッチン、工房スペースを整備</li> <li>作成した加工品は特産物販売ショップやレンタルスペースで販売することに配慮してスペースを整備</li> </ul>	70
貸出用更衣室・ロッカー	<ul style="list-style-type: none"> <li>オープンシェアキッチン及びシェア工房の利用者が使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベント事業者等の控室として使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オープンシェアキッチン及びシェア工房の利用者が利用できるように近接して整備</li> </ul>	10
子育て支援スペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>わくわくランドと一体的に利用可能なキッズスペース（自然が豊かな安芸太田町らしい木製遊具等が配置された屋内の親子の遊び場）</li> <li>悩み相談、絵本図書館など町民の子育てスペース</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然が豊かな安芸太田町らしい木製遊具等が配置された屋内の親子の遊び場の一般開放</li> <li>ネイチャーセンターの休憩スペースとしても使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然が豊かな安芸太田町らしい木製遊具（滑り台やベンチ等）や絵本等を整備</li> <li>子育て支援員の対応スペースや利用者の休憩スペースを整備</li> <li>屋外遊具に近接して整備</li> </ul>	60
町民利便施設 （ATM、宅配ボックス等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>宅配ボックスや ATM 等の利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ATM 等の利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設利用者の利便性に配慮した設備を整備</li> </ul>	20

導入施設	利用イメージ		導入機能の整備・配置イメージ（案）	施設規模イメージ (㎡)	
	平日（町民をメインの利用者として想定）	休日（観光客をメインの利用者として想定）			
北側エリア	サイクル・バイクステーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工具が設置されたサポートステーションで自転車やバイクを整備（自転車やバイクのパーツ販売店も併設）</li> <li>・ 更衣室やシャワー、ロッカー、休憩スペースの利用</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自転車やバイク利用者の利便性や安全に配慮した設備を整備</li> <li>・ 屋外の駐輪、駐車スペースに隣接して配置</li> </ul>	30
	バス待合所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高速バス・町内バスの交通拠点、パーク&amp;ライド、代行サービス拠点</li> <li>・ 観光地への2次交通バスの交通拠点となる待合所</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 待合所機能と兼ねて軽飲食施設（フードコート）等を整備</li> </ul>	—
	その他（事務所、トイレ、機械室、倉庫、共用部等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道の駅運営事業者が利用（事務所）</li> <li>・ 非常用発電機、蓄電池システムなどの防災設備（機械室）</li> <li>・ 貯水タンク、防災倉庫、防災トイレなどの防災設備（倉庫、共用部）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道の駅運営事業者のための機能を整備</li> <li>・ 道路休憩施設として24時間利用可能なユニバーサルデザインに配慮したトイレを整備</li> <li>・ 防災機能を有するスペースや設備を整備</li> </ul>	1495
	イベント広場（屋根付き）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 屋根付きのスペースを活用したヨガや健康体操等健康増進活動</li> <li>・ 飲食スペース、休憩スペースとしての利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飲食スペース、キッチンカー等での飲食等の販売</li> <li>・ 町内外交流イベントの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雨天時や夜間利用に配慮して各導入施設と一体的に整備</li> </ul>	350
	イベント広場（屋根なし）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広々とした屋外の親子の遊び場利用</li> </ul>	・	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活気ある広場となるよう各導入施設との一体感や視認性に配慮して整備</li> </ul>	1,100
	自然の小径	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町民の健康増進を進める歩行空間利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光客がエコツーリズムや森林散策に興味をもつきっかけとなる安芸太田らしい自然の体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康増進や癒しを感じる自然体験のためのスペースとして整備</li> <li>・ オープンシェアキッチンで利用できる果樹の整備、町民参加型の植樹、季節に応じたイベントの開催等をとおして町民が誇れる空間として整備</li> </ul>	1,500
	遊具	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然が豊かな安芸太田町らしい木材を利用した遊具等も取り入れた子どもの遊び場</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安芸太田町らしさが感じられる木材を利用した子供の遊び場を整備</li> </ul>	2,200
	駐車場・駐輪場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サイクル、バイクステーションと一体となった自転車やバイク利用者のための駐車スペース</li> <li>・ 様々な食の積み替えにも対応できる大型トラック等のターミナル</li> <li>・ 次世代エネルギーに対応したEV充電スポット・水素ステーションの利用</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設利用者の利便性、安全性や維持管理の行いやすさに配慮して整備</li> </ul>	7,000
南側エリア	トイレ（既設）	—		—	75
	BBQサイト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 太田川及び上殿さくら公園と一体的に利用できる憩いの場として使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 直売所で食材を購入し、河川を眺めながらBBQ体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 太田川等の自然が感じられる広場、BBQサイト、車中泊施設として整備</li> </ul>	200
	RVパーク		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ キャンピングカー等車中泊（有料駐車場）</li> </ul>		450
	水遊び（川床）広場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 太田川及び上殿さくら公園と一体的に利用できる憩いの場として使用</li> </ul>			—

## 5. ゾーニング案

導入施設の利用イメージと規模設定を踏まえ、以下の前提条件・ゾーニング方針を元に道の駅を南側に配置した案（A案）と北側に配置した案（B案）を作成した。

### <前提条件>

- 「JA 広島市」は道の駅施設に含めず既存のまま利用する。
- 「セブンイレブン」は新設する道の駅内に統合する。
- 南側エリアの「トイレ」は既存のまま利用する。
- 町道門田支線を廃止し、道の駅敷地として利用する。
- 町道門田線の付替え（道路整備方針①）を行い、北側エリアと南側エリアの回遊性を確保する。
- 遊具及び駐車場は現況同等以上のスペースを確保する。

### <ゾーニング方針>

- 「北側エリア」に道の駅の導入施設を集約し、イベント広場・自然の小径・遊具と一体的に整備することで賑わいを創出する。
- 「南側エリア」は太田川及び上殿さくら公園との一体的な利用ができる屋外施設（BBQ サイト・RV パーク・水遊び（川床）広場）を整備し、太田川への眺望を確保する。
- 「北側エリア」と「南側エリア」をつなぐ動線を確保する。
- 「セブンイレブン」を統合し、国道から北側敷地への見通しを確保する。
- 駐車場出入口を左折 IN 専用とし、敷地内に整備した車路によって滞留長を確保することで渋滞を緩和する。  
※車両出入口の位置変更や道路の付替え、車路の整備の有無は次年度以降の検討や公安協議を踏まえて方針を決定する予定
- 道の駅の導入施設とイベント広場、遊具を近接して配置することで子どもの安全に配慮する。
- 自然の小径や BBQ サイトを国道 191 号に隣接して整備することで自然を感じられる道の駅とする。
- 道の駅施設内のゾーニングは住民利用機能を西側・商業機能を東側に配置することで JA 広島市と住民利用機能を一体的に計画し、町民の利便性に配慮する。

### <ゾーニング案の特徴>

区分	A 案	B 案
	道の駅を南側に配置した案	道の駅を北側に配置した案
施設規模	建築面積：約 2,000 m <sup>2</sup> （平屋建て（一部 2 階建て）） 延べ面積：約 3,050 m <sup>2</sup> （イベント広場（屋根付き）350 m <sup>2</sup> を含む） 駐車場面積：約 7,000 m <sup>2</sup> （現状規模同等程度）	
道の駅施設配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 北側エリアと南側エリアが近接し一体的に利用できる</li> <li>● 道の駅を北側エリア（南）に配置することで、北側エリアの敷地を有効利用できる</li> <li>● 戸河内 IC 交差点や国道から道の駅や広場を視認できる</li> <li>● JA 広島市と隣接するため、町民の利便性が高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 戸河内 IC 交差点や国道から道の駅の駐車場を視認できる</li> </ul>
その他施設配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>● イベント広場（屋根付き）を道の駅を中心に整備することで駐車場と南側エリアをつなぐエントランス空間を設ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● イベント広場（屋根付き）を遊具と隣接して整備することで屋外の遊び場として利用できる</li> <li>● 国道と離れた位置に遊具を配置することで落ち着いた子供の遊びを確保できる</li> </ul>
歩行者・車両動線	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 歩行者・車両動線を分離することで利用者の安全性を確保できる</li> <li>● 敷地北側に車路を新設することで滞留長を確保するとともに駐車場出入口を左折 IN 専用とすることで、国道 191 号における渋滞の混和が見込める（道路整備方針②）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 駐車場出入口を左折 IN 専用とすることで、国道 191 号における渋滞の混和が見込める（道路整備方針③）</li> </ul>

■ゾーニング A案（道の駅を敷地南側に配置）

○道路計画条件  
 道路構造令における道路の区分：第3種道路 第3級  
 設計速度：30km/h  
 幅員：7.5m（路肩0.75m×2+幅員3m×2）  
 勾配：約7%

**道路整備方針② 敷地北側に車路を新設**  
 国道191号線の渋滞緩和のために下記計画を実施  
 ・左折専用の駐車場出入口を整備  
 ・町道上殿線から町道門田線を接続する車路を整備することで駐車場出入口までの滞留長を確保  
 ※車路の位置づけは要協議（町道or敷地内通路）

**北側エリア**  
 道の駅による賑わいの創出  
 安芸太田らしい自然を活かしたエリア

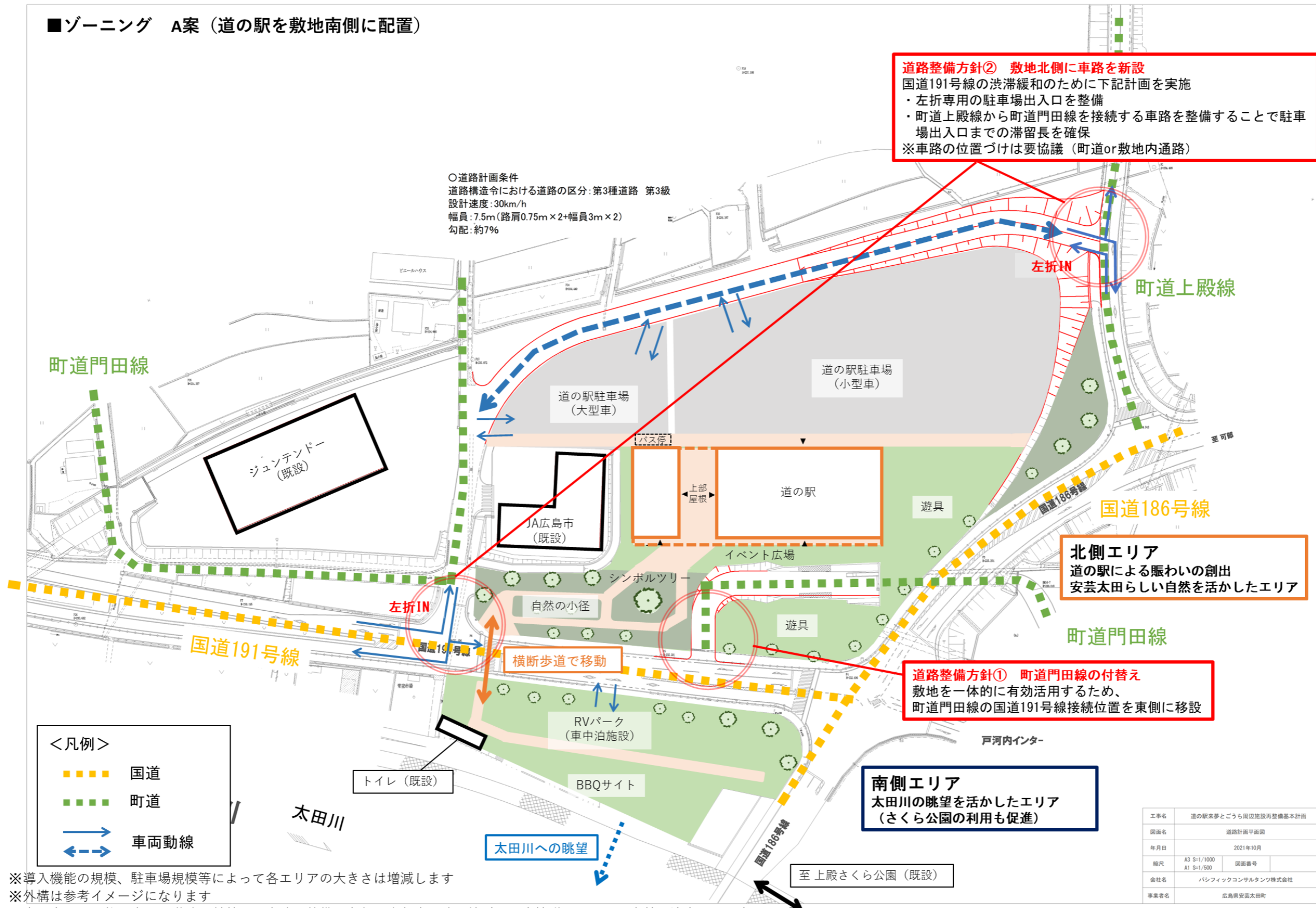
**道路整備方針① 町道門田線の付替え**  
 敷地を一体的に有効活用するため、  
 町道門田線の国道191号線接続位置を東側に移設

**南側エリア**  
 太田川の眺望を活かしたエリア  
 （さくら公園の利用も促進）

- <凡例>
- 国道
  - 町道
  - 車両動線
  - ↔ 車両動線

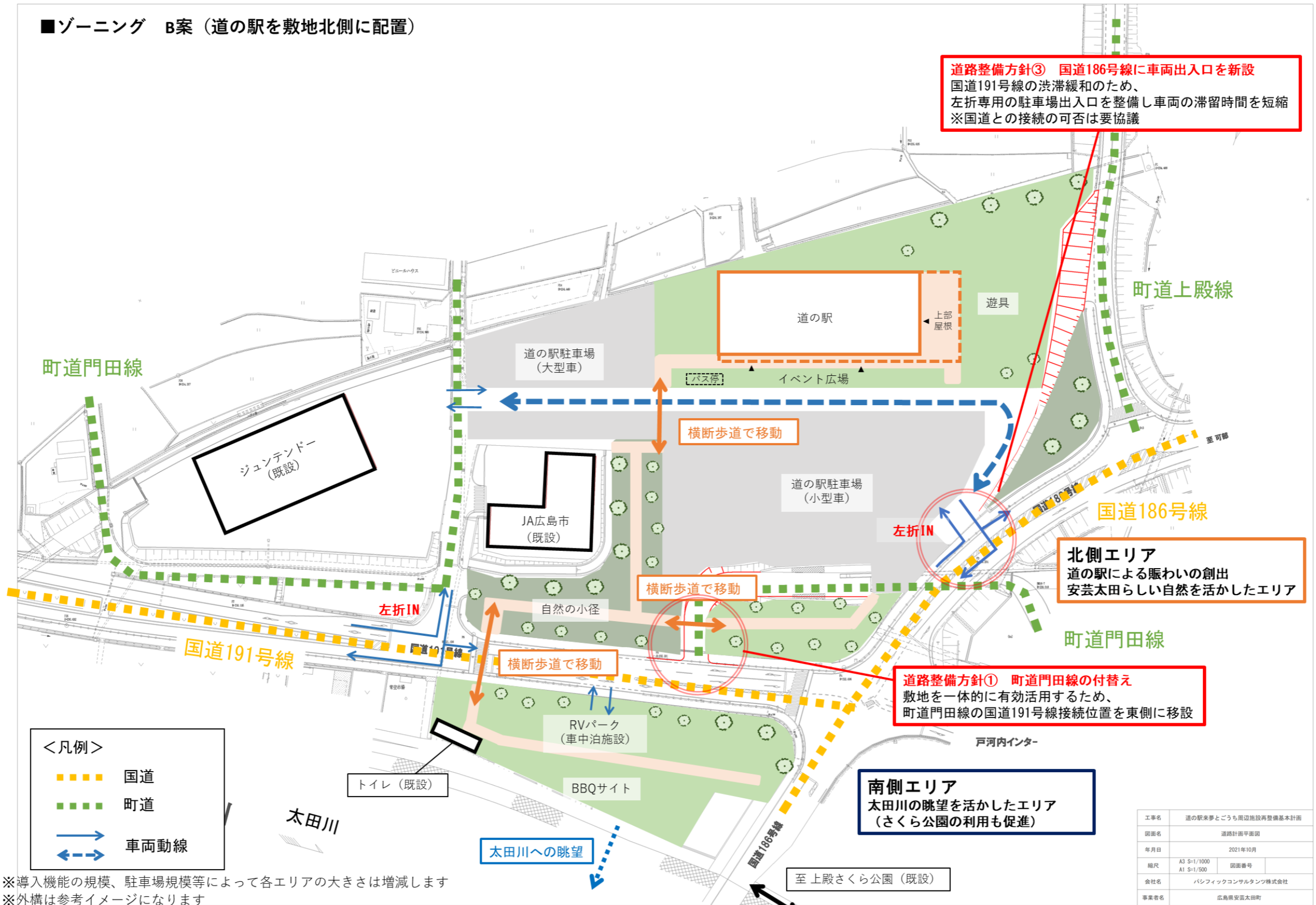
※導入機能の規模、駐車場規模等によって各エリアの大きさは増減します  
 ※外構は参考イメージになります  
 ※車両出入口の位置変更や道路の付替え、車路の整備の有無は次年度以降の検討や公安協議を踏まえて方針を決定する予定です

工事名	道の駅未夢とごうち周辺施設再整備基本計画		
図面名	道路計画平面図		
年月日	2021年10月		
縮尺	A3 S=1/1000	図面番号	
	A1 S=1/500		
会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事業者名	広島県安芸太田町		





■ゾーニング B案（道の駅を敷地北側に配置）



**道路整備方針③ 国道186号線に車両出入口を新設**  
 国道191号線の渋滞緩和のため、  
 左折専用の駐車場出入口を整備し車両の滞留時間を短縮  
 ※国道との接続の可否は要協議

**北側エリア**  
 道の駅による賑わいの創出  
 安芸太田らしい自然を活かしたエリア

**道路整備方針① 町道門田線の付替え**  
 敷地を一体的に有効活用するため、  
 町道門田線の国道191号線接続位置を東側に移設

**南側エリア**  
 太田川の眺望を活かしたエリア  
 (さくら公園の利用も促進)

- <凡例>
- 国道
  - 町道
  - 車両動線
  - 車両動線

※導入機能の規模、駐車場規模等によって各エリアの大きさは増減します  
 ※外構は参考イメージになります  
 ※車両出入口の位置変更や道路の付替え、車路の整備の有無は次年度以降の検討や公安協議を踏まえて方針を決定する予定です

工事名	道の駅来夢とごうち周辺施設再整備基本計画		
図面名	道路計画平面図		
年月日	2021年10月		
縮尺	A3 S=1/1000	図面番号	
	A1 S=1/500		
会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事業者名	広島県安芸太田町		